

浜坂町城山の蝶類 (II)

黒井和之

筆者は、1986年と1987年に引き続き、1988年も兵庫県美方郡浜坂町城山において蝶類の調査を行った。前回の報告で不充分であった春季(4月1回、5月2回の調査)に力を入れたが、まだまだ満足いく結果が得られたとはいえない。

調査の方法は、黒井(1988)に従い、採集のほか目撃で確認できたものも個体数に含めた。なお、本文中で番号の頭に「*」印をつけた種は、今回の調査で新たに追加できたものである。

〈記録〉

アゲハチョウ科 Papilionidae

1. キアゲハ *Papilio machaon* (1ex.1988-VIII-21)
- *2. ナミアゲハ *P. xuthus* (1ex.1988-VIII-20)
3. クロアゲハ *P. protenor* (1ex.1988-VIII-21)
4. モンキアゲハ *P. helenus* (4exs.1988-VIII-20)
5. カラスアゲハ *P. bianor* (1ex.1988-V-9; 1ex.1988-V-13)

シロチョウ科 Pieridae

6. モンシロチョウ *Pieris rapae* (1ex.1988-VIII-20)
7. スジグロシロチョウ *Pieris melete* (4exs.1988-V-9)
- *8. ツマキチョウ *Anthocharis scolymus* (2exs.1988-IV-13)
9. キチョウ *Eurema hecabe* (1ex.1988-V-9; 1ex.1988-VIII-20)

シジミチョウ科 Lycaenidae

10. ウラゴマダラシジミ *Artipoetes pryori* (1ex.1988-VI-21)
- *11. トラフシジミ *Rapala arata* (1ex.1988-V-13)
12. ベニシジミ *Lycaena phlaeas* (1ex.1988-V-9; 1ex.1988-V-13)
- *13. コツバメ *Callophrys ferrea* (1ex.1988-V-9)
14. ルリシジミ *Celastrina argiolus* (1ex.1988-V-13)

タテハチョウ科 Nymphalidae

- *15. ツマゲロヒョウモン *Argyreus hyperbius* (lex.1988-VIII-21)
- *16. イチモンジチョウ *Limenitis camilla* (lex.1988-VIII-20)
- 17. コミスジ *Neptis sappho* (lex.1988-V-9; lex.1988-V-13)
- 18. ホシミスジ *N. pryeri* (2exs.1988-VI-19; 2exs.1988-VI-21)
- *19. サカハチチョウ *Araschnia burejana* (lex.1988-V-9)
- *20. ルリタテハ *Kaniska canace* (2exs.1988-VIII-21)
- *21. ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas* (lex.1988-VIII-20)

ジャノメチョウ科 Satyridae

- 22. ジャノメチョウ *Minois dryas* (2exs.1988-VIII-20)
- 23. クロヒカゲ *Lethe diana* (lex.1988-VIII-20)
- 24. コジャノメ *Mycalesis francisca* (12exs.1988-V-9; 2exs.1988-VIII-20)
- *25. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* (lex.1988-VIII-20)

セセリチョウ科 Hesperidae

- 26. ダイミョウセセリ *Daimio tethys* (lex.1988-V-9; lex.1988-VI-2)

<まとめ>

1. 1988年、兵庫県美方郡浜坂町城山で蝶類の調査を行い、新たに10種を追加することができた。これで1986年、1987年の2年間と合わせ、7科42種を確認した。
2. 1988年の1年間の調査を振り返ってみると、春季は安定した天候だったものの、夏季に入ると天候不順が続く。その影響だろうか、1986・1987の2年間に比べ種類数、個体数ともに少なく感じられた。とくに、比較的多かったヘリグロチャバネセセリ、ホソバセセリは1頭も記録することができなかった。

参考文献

黒井和之(1988) 浜坂町城山の蝶類, IRATSUME 12:11-13.